

〔私の生涯学習〕

## 「英語ⅢS」から「英語ⅣS」への頃 ('08 4月～'10 3月)

溝 口 正太郎

(平成21年度科目等履修生)

・「英語ⅢS」

クラスメートは、3年男子3人、同女子留学生（中国）1人、それに老生の5人であった。学生さん達と、親しく話を交わすようになったのは、この頃からであった。いずれも、明るく、学習意欲が旺盛な人たちだった。授業の前半はTOEIC学習で、後半が、本学のオリジナル教材「クラーク方式による耳で学ぶENGLISH」によるリスニング学習であった。TOEIC演習は先生が準備された問題集からのコピーと思われるプリントで、リーディングテスト「PART 7」（読解問題）の演習であった。「PART 7」は、TOEICの中でも最もむずかしい部門である。新聞・雑誌の記事、eメール・メッセージ、書簡文、社内通信、伝言・覚え書き等を使って種々雑多な問題が作られている。TOEICテストの最終段階に配置されていて、120分間のテスト時間も残り僅かとなる頃に現れる問題であり、迅速で正確な読解力が試される。授業では、プリント配布後、直ちに指名解答させる時もあったが、多くの場合予習が可能であり、あまりスピードを気にせず、正確な読解の要領を学ぶことができた。後半は、リスニング演習である。教材は、前記の、「クラーク方式による耳で学ぶENGLISH」である。（資料①）この授業の第1段階は、Q1プリント（資料②）であり、完成文（資料④）の中の単語を消去した部分が（ ）で示されている。先生が操作するテープの再生音を聞いて、（ ）内に単語を埋めていく。学生は、各自で所有しているCD（またはテープ）を聞いて予習をし、聴き取れた単語を記入して授業に臨む。授業では先生がQ1の短い段落ごとに板書をし、（ ）内に指名した学生が答える語を赤ペンで記入する。もちろん2人以上の学生に質問しながら（ ）内を補う場合もある。（ ）内が全部記入された段階で、最初に当てられた学生が、段落の文章を音読して、和訳する。全文が完成した後文法的説明が必要な時などには、先生が補足説明をし、名訳をつけて下さる。この授業で、学生が聴きとれない発音の難所は、結構、頻繁に現れてくる。ネイティブスピーカーの話す速さはもちろん、それぞれのネイティブがもつ発音の個性もあり、反復聴取するトレーニングからリスニング力が養われて行くのだろう。授業では、このような難所にぶつかると、先生はいつも、「よし、もう一回聴いてみようか。」のきまり文句とともに、ラジカセが置かれている机（老生の机から至近距離にある）まで何回となく往復され、「停止」「巻き戻し」「再生」を手際よく、寸分たがわぬ正確さで、テープの「あたま出し」をやっけてのけられる。先生のこのテクニックに、テープ派の老生はいつも感心していた。学生が一回で空所を全部聴きとれたときは、「よく聴こえていますね」と誉めて下さる。Q1が終わると（ ）の数が更に多くなるQ2（資料③）へ移りQ1と同様のトレーニングが続く。Q1で文章の大意が理解できているだけに、新鮮味はないけれどもキーワードがQ1より更に多く（ ）の中に消えてしまうので、益々テープの一語一語に集中聴取が求められる。Q2が終了すると、完成文が配布される。「聴きとること」ができれば、その対極にある「話すこと」ができるようになるはずであり、「読むこと」と「書くこと」だけに重点をおいた時代の古い英語教育を受けた老生にとっては貴重な学習体験であった。参考までに、今年度の教材の中から老生が選んだ2篇を載せた。ついでに、期末試験のことに触れれば、問題はその学期に履修したテーマ4篇の中から4題出題され、問題文中に設けた合計50個の空所を埋める問題で、時間は60分、配点は1箇所2点である。録音機材は勿論、辞書の持ち込みはOKである。

・「英語ⅣS」

英語Sシリーズの最後の科目だ。学習者は4年男子学生2人、科目等履修生3人（老生を含む）の5人であった。顔なじみの学生2人に加え、新たに、老生より若い2人（男）の履修生が加わり心強く思った。今年度は授業中

のTOEIC演習はなく、前年度より継続のリスニング教材のみによる授業であった。「IV S」ともなるとネイティブの話すスピードがいくらか速くなってとてもついて行けない場面も出てくるようになった。いや、本当にリスニングはむずかしい。とししばしば立往生する。今学年になって、老生が授業中、常々感じていたことがあった。男子学生のU君とE君が非常に実力をつけてきていると気づいたことだ。ある日の授業終了後、教壇を立ち去る先生に不躰な質問とは思いつながら「最近U君とE君は非常に力をつけてきていますね」と生意気なことを言った。先生は顔を綻ばせて、頷いておられた。U君は卒業後米国留学の進路がきまったとのことだった。おめでとう！

石川先生へのお礼の言葉が最後になり、申し訳ありません。紙上をお借りして申し上げます。

平成13年4月ご着任の年に「総合英語」を受講しました。最初の授業で、先生の板書が筆記体であったことに親しみを覚えたこと、戦中派の老生が授業中に発した「敵性国語」という言葉を板書され、学生さんに「この言葉の意味わかりますか」と訊かれたこと、また、学生の英語力を確かめるためか、板書されたいくつかの語句のうち「a pair of trousers」の意味を誰も即答できなかったこと等を覚えています。また翌年の「総合英語」では、イラク戦争のまっただなか、欧米のマスコミ論評を、資料に基づいて詳細に解説して下さったこと、果ては「ニューヨークタイムズ」紙の社説の翻訳を宿題に課され悪戦苦闘して迷訳を提出したこと等をなつかしく想起しています。続いて、本学のオリジナル カリキュラムである英語 I S から英語 IV S までの連続学習が本学での英語学習の締めくくりとなりました。この間、大変熱心なご指導をいただき、ありがとうございました。「国際関係論」をライフ・ワークとなさる先生には、健康に留意され、益々ご研鑽なさいますようお祈りいたします。

資料①

### 耳で学ぶENGLISH -18 SHORT STORIES-

| (Disc1)   | (Disc2)                                   |
|---|---|
| 1 はじめに  | 1 はじめに                                    |
| 2 Life in the Snow Country (Slow)                     | 2 Exploding Bats and Balloon Bombs (Slow) |
| 3 " (Normal)  | 3 " (Normal)                              |
| 4 " (Question)  | 4 " (Question)                            |
| 5 The Japanese Wrapping Cloth (Slow)                  | 5 The Puffin Rescuers (Slow)              |
| 6 " (Normal)  | 6 " (Normal)                              |
| 7 " (Question)  | 7 " (Question)                            |
| 8 Travel Hints - Baggage (Slow)                       | 8 The Giants (Slow)                       |
| 9 " (Normal)  | 9 " (Normal)                              |
| 10 " (Question)                                       | 10 " (Question)                           |
| 11 Nikujaga - Meat and Potatoes Japanese Style (Slow) | 11 Herry Pilabury's Amazing Memory (Slow) |
| 12 " (Normal)   | 12 " (Normal)                             |
| 13 " (Question)                                       | 13 " (Question)                           |
| 14 A walk on the Beach (Slow)                         | 14 The Sky is Falling! (Slow)             |
| 15 " (Normal)   | 15 " (Normal)                             |
| 16 " (Question)                                       | 16 " (Question)                           |
| 17 Sachie (Slow)                                      | 17 Sei Shoonagon (Slow)                   |
| 18 " (Normal)   | 18 " (Normal)                             |
| 19 " (Question)                                       | 19 " (Question)                           |
| 20 An Empty Jar (Slow)                                | 20 Anansi Rides Lion (Slow)               |
| 21 " (Normal)   | 21 " (Normal)                             |
| 22 " (Question)                                       | 22 " (Question)                           |
| 23 My Future - Reduced Expectations (Slow)            | 23 Why the Owl has Big Eyes (Slow)        |
| 24 " (Normal)   | 24 " (Normal)                             |
| 25 " (Question)                                       | 25 " (Question)                           |
| 26 Terminator Seeds - Seeds of Death (Slow)           | 26 A Festival of Freedom (Slow)           |
| 27 " (Normal)   | 27 " (Normal)                             |
| 28 " (Question)                                       | 28 " (Question)                           |

<SPEAKER> 羽賀ローリー

## クラーク方式による 耳で学ぶENGLISH



制作 ♪ 長岡大学 産業経営学部

このディスクを権利者の許可なく、複製すること、公演・放送・レンタル（有償・無償を問わず）に使用すること、ネットワーク等を通じて収録音を送信できる状態にすることを禁じます。

05.04.01

耳で学ぶENGLISH ♪ 長岡大学 産業経営学部

### クラーク方式による 耳で学ぶENGLISH II ~16 SHORT STORIES~

|                         |                             |
|-------------------------|-----------------------------|
| 1. Getting Into College | 17. Robots for Hire         |
| 2. Questions            | 18. Questions               |
| 3. Leaving Home         | 19. Cleaning out the Junk   |
| 4. Questions            | 20. Questions               |
| 5. Orientation          | 21. Studying in Cyberspace  |
| 6. Questions            | 22. Questions               |
| 7. Choosing a Major     | 23. The Beach and Business  |
| 8. Questions            | 24. Questions               |
| 9. Working on Campus    | 25. No Manual, No Sale      |
| 10. Questions           | 26. Questions               |
| 11. Greek Life          | 27. Eat them to save them   |
| 12. Questions           | 28. Questions               |
| 13. Pub Crawl           | 29. The difference in games |
| 14. Questions           | 30. Questions               |
| 15. Graduation          | 31. No one is perfect       |
| 16. Questions           | 32. Questions               |

**Speaker**  
アンジェラ・ドレイク

**Speaker**  
ジェリー・モート

## クラーク方式による 耳で学ぶENGLISH II ~16 SHORT STORIES~



制作 ♪ 長岡大学 産業経営学部

このディスクを権利者の許可なく、複製すること、公演・放送・レンタル（有償・無償を問わず）に使用すること、ネットワーク等を通じて収録音を送信できる状態にすることを禁じます。

06.03.29

耳で学ぶENGLISH II ♪ 長岡大学 産業経営学部

資料①

クラーク方式による 耳で学ぶENGLISHⅢ  
～16 SHORT STORIES～

1. Girls and Boys
2. An Educational Education
3. The Way We Work
4. Full Grown, at Home
5. The Marrying Age
6. The Culture of Cute
7. The Times Aren't Changing
8. A Smoker's Paradise

Speaker  
アンジェラ・ドレイク

9. Heart Strings
10. Road Warriors
11. Dragon Slayers
12. Hooked on Giving
13. Just an Ordinary Guy
14. Able to Work
15. For My Grandmother
16. Random Acts of Kindness

Speaker  
ジェリー・モート

このディスクを権利者の許可なく、複製すること、公演・放送・レンタル（有償・無償問わず）に使用すること、ネットワーク等を通じて収録音を送信できる状態にすることを禁じます。

耳で学ぶENGLISHⅢ  
長岡大学

クラーク方式による  
耳で学ぶENGLISHⅢ  
～16 SHORT STORIES～



制作 長岡大学

クラーク方式による 耳で学ぶENGLISHⅣ  
—16 SHORT STORIES—

- 1: It's Okay When I Forget to Lock My door
- 2: Train, Train
- 3: Bacon Is Meat!
- 4: Taking Out the Trash
- 5: A Happy Medium?
- 6: Boys In Dresses
- 7: Exam Land
- 8: Put Up With It

Speaker アンジェラ・ドレイク

9. A Class Act
- 10: A Political Convention
- 11: A Good Night's Rest
- 12: Off on the Right Hand
- 13: Send It to the Smithsonian
- 14: Panda Express Success
- 15: The Presidential Primaries
- 16: The Election of a President

Speaker ジェリー・モート

このディスクを権利者の許可なく、複製すること、公演・放送・レンタル（有償・無償問わず）に使用すること、ネットワーク等を通じて収録音を送信できる状態にすることを禁じます。

Produced by Nagaoka University 08.04.01

クラーク方式による 耳で学ぶENGLISHⅣ  
—16 SHORT STORIES—  
長岡大学

クラーク方式による  
耳で学ぶENGLISHⅣ  
—16 SHORT STORIES—



制作 長岡大学  
Produced by Nagaoka University 2008

資料②

It's Okay When I Forget to Lock My Door (Q1)

( ) ( ) is ( ) that Japanese people have ( ) ( ) ( ) ( ) than American people do. I ( ) that I ( ) ( ) ( ) by ( ) in a ( ) ( ) there is ( ) ( ) ( ) ( ) of ( ) than there is in my ( ) ( ) ( ).

( ) ( ), when I go home ( ) ( ) ( ), my ( ) to America's ( ) is very ( ). I ( ) ( ) my bag more ( ) when ( ) ( ) ( ) ( ), I ( ) the doors of my car ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ), I ( ) ( ) ( ) I receive from ( ) at the store ( ) ( ) ( ) ( ) ( ). ( ) ( ), I don't trust anyone. I ( ) that I ( ) ( ) ( ) all of those things ( ) ( ) ( ) Japan, but ( ) ( ) ( ) do them in Japan, it seems ( ) to me in America, now.

( ) ( ) ( ) in Japan, I've ( ) ( ) in the morning to find that ( ) ( ) ( ) my door ( ) ( ) ( ) ( ) on ( ) ( ) ( ). In Japan, I ( ) ( ) ( ), lock the door in the morning, and ( ) ( ) ( ) it. In America, I would ( ) do a ( ) ( ) of the things ( ) ( ) ( ) to make sure ( ) ( ) ( ) ( ) my home to ( ) ( ). I ( ) ( ) ( ) ( ) American life and life in Japan. It ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) while living in ( ) ( ) ( )...but I am a little ( ) that I might ( ) ( ) ( ) that ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) in America, such as not locking my door ( ) ( ) ( )!

資料②

A Happy Medium? (Q1)

One ( ) ( ) ( ) ( ) between America and Japan is something I will call ( ) ( ). By “( ) ( ),” I mean ( ) ( ) people go to a ( ) or ( ) ( ) to ( ) their problems ( ) ( ) ( ) them ( ) ( ) ( ).

( ) Japan ( ) America ( ) ( ) have ( ) ( ) ( ) ( ) ( ). In America, ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) for everything. People ( ) ( ) ( ) ( ) in America ( ) ( ) ( ) ( ) money for ( ) ( ) people who ( ) ( ) them for doing something ( ); ( ) have ( ) ( ) by people they ( ) from ( ) ( ) because the people ( ) ( ) when the ( ) ( ) them; ( ) have ( ) ( ) ( ) because they were ( ) ( ) ( ) the house. ( ), there was ( ) ( ) ( ) ( ) who ( ) McDonald's because ( ) ( ) ( ) ( )!!

In Japan, it's ( ) ( ) for people to ( ) ( ) ( ) ( ). But, because of that, I see ( ) ( ) ( ) ( ) that ( ) ( ) ( ) in America. ( ) ( ), in the ( ) in Japan, ( ), ( ), ( ) and ( ) ( ) ( ), everything is ( ) ( )! It is ( ) ( ) and very easy for people ( ) ( ) ( ) ( ) ( ), but because ( ) ( ) ( ) ( ) after being injured, the ice is ( ) ( ) and ( ) is ( ). If someone in America ( ) ( ) and ( ) ( ) in a ( ) ( ) in America, they ( ) ( ) ( ) thousands of dollars from ( ) ( ) of the ( ) ( ), because it was ( ).

I wish that Japanese would ( ) ( ) ( ) a little more often ( ) ( ) ( ) ( ) ( ), and that Americans would ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) to ( ) ( ) ( ).

### 資料③

#### It's Okay When I Forget to Lock My Door (Q2)

Trust. Trust ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) a lot more of ( ) ( ) ( ) ( ) ( ). I ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) by ( ) ( ) ( ) ( ) where ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) than ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ).

For example, ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ), my ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ). I ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) when ( ) ( ) ( ) ( ), I ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) as soon as ( ) ( ) ( ) ( ), I ( ) ( ) ( ) I ( ) ( ) ( ) at ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ). In short, ( ) ( ) ( ) ( ). I ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) before ( ) ( ) Japan, but ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) in Japan, ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) in America, now.

( ) ( ) ( ) in Japan, ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) to ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ). In Japan, ( ) ( ) ( ), ( ) ( ) ( ) ( ) ( ), and ( ) ( ) ( ) it. In America, ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) in ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ). I ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) in Japan. ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ...but ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) I ( ) ( ) ( ) ( ) that ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) in America, ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) before ( ) ( ) !

資料③

A Happy Medium? (Q2)

One ( ) ( ) ( ) ( ) between America and Japan ( )  
 ( ) I will ( ) ( ) ( ). By “( ) ( ),” I mean ( )  
 ( ) ( ) go to a ( ) or ( ) ( ) to ( ) ( ) ( )  
 ( ) ( ) ( ) them ( ) ( ) ( ).

( ) Japan ( ) America ( ) ( ) have ( ) ( ) ( ) ( ) ( ).  
 In America, ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ). ( ) ( )  
 ( ) ( ) ( ) in America ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) for ( )  
 ( ) people who ( ) ( ) ( ) for ( ) ( ) ( ); ( ) have  
 ( ) ( ) by ( ) ( ) ( ) from ( ) ( ) because ( ) ( )  
 ( ) ( ) when the ( ) ( ) ( ) them; ( ) have ( ) ( )  
 ( ) because they were ( ) ( ) ( ) ( ) ( ). ( ), there  
 was ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) who ( ) McDonald's because ( ) ( ) ( ) ( )!!

In Japan, ( ) ( ) ( ) for people to ( ) ( ) ( ) ( ). But, ( )  
 ( ) ( ), I see ( ) ( ) ( ) ( ) that ( ) ( ) ( ) in  
 America. ( ) ( ), in the ( ) in Japan, ( ), ( ), ( ) and  
 ( ) ( ) ( ), ( ) is ( ) ( )! It is ( ) ( ) and ( )  
 ( ) for people ( ) ( ) ( ) ( ), but because ( ) ( ) ( ) ( ) after  
 ( ) ( ), ( ) ( ) is ( ) ( ) and ( ) is ( ). ( ) ( )  
 in America ( ) ( ) and ( ) ( ) in a ( ) ( ) in America, they ( )  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) from ( ) ( ) of the ( ) ( ), because  
 it was ( ).

I ( ) ( ) ( ) would ( ) ( ) ( ) a ( ) ( ) ( ) ( )  
 ( ) ( ) ( ) ( ), ( ) ( ) Americans would ( ) ( ) ( ) ( )  
 ( ) to ( ) ( ) ( ).



## 資料④

### It's Okay When I Forget to Lock My Door

Trust. Trust is something that Japanese people have a lot more of than American people do. I find that I have been changed by living in a society where there is a lot less fear of crime than there is in my home country.

For example, when I go home for a visit, my reaction to America's criminals is very strong. I hold onto my bag more tightly when I am in public, I lock the doors of my car as soon as I close the door, I count the change I receive from cashiers at the store to make sure it's correct. In short, I don't trust anyone. I imagine that I must have done all of those things before coming to Japan, but because I don't do them in Japan, it seems strange to me in America, now.

A few times in Japan, I've woken up in the morning to find that I didn't lock my door before going to bed on the previous night. In Japan, I shake my head, lock the door in the morning, and don't worry about it. In America, I would probably do a quick survey of the things in my room to make sure no one came in to my home to steal things. I enjoy this difference between American life and life in Japan. It helps me to be relaxed while living in a foreign country...but I am a little worried that I might form relaxed habits that would be a bad thing in America, such as not locking my door before sleeping!

## 資料④

### A Happy Medium?

One very obvious cultural difference between America and Japan is something I will call lawsuit culture. By “lawsuit culture,” I mean how often people go to a courthouse or law building to solve their problems rather than solving them on their own.

Neither Japan nor America seems to have the best culture in this area. In America, too many people use lawsuits for everything. People who work in hospitals in America must pay a lot of money for protection against people who could sue them for doing something wrong; firemen have been sued by people they saved from burning houses because the people were injured when the firemen carried them; robbers have sued their victims because they were injured while robbing the house. Finally, there was the case of a woman who sued McDonald’s because her coffee was hot!!

In Japan, it’s very unusual for people to sue for any reason. But, because of that, I see potential for danger everywhere that would never exist in America. For example, in the winter in Japan, sidewalks, streets, school and hospital parking lots, everything is very icy! It is so dangerous and very easy for people to fall and get injured, but because no one would sue after being injured, the ice is never melted and walking is unsafe. If someone in America would fall and get hurt in a parking lot in America, they could easily get thousands of dollars from the owners of the parking lot, because it was unsafe.

I wish that Japanese would use the courthouse a little more often to make it a safer place, and that Americans would use the courthouse less often to solve stupid problems.